

福知山市商工会 企業業況調査

平成31年1月調査結果(12月実績 調査対象 77件) (平成31年2月15日公表)

■景況感

	今回調査数	現状		先行3ヶ月		先行1年		
		今回	前回	今回	前回	今回	前回	
全体	77	40.3	37.5	41.2	35.2	37.3	34.1	
地域別	三和	16	46.2	32.1	50	28.6	47.9	32.1
	夜久野	24	35.4	30.0	35.4	28.3	32.3	25.8
	大江	37	44.6	47.9	45.3	45.8	37.2	43.1
業種別	製造業	22	45.5	46.6	50.0	40.9	45.5	42.0
	建設業	23	52.2	39.6	54.3	34.4	44.6	31.3
	卸小売業	10	22.5	31.9	20.0	31.9	20.0	29.2
	サービス業	22	30.7	31.3	28.4	33.3	22.7	33.3

景況感DIの算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出
 良い+1.0、やや良い+0.75、どちらともいえない+0.5、やや悪い+0.25、悪い+0.0
 (すべてが「どちらともいえない」と回答した場合、DIは「50.0」)

景況感DIは40.3と前回調査よりも2.8ポイントの回復となった。地域別では、三和が14.1ポイント回復幅が大きく、夜久野も5.4ポイント回復した。逆に大江は3.3ポイントマイナスになっている。業種別では、建設業が12.6ポイントの回復となっているが、他の3業種はすべてマイナス、特に卸小売業はマイナス9.4ポイントと大きくなっている。

先行調査でも、三和地域の回復傾向が目立つ。全体的にも先行3ヶ月が6ポイント、先行1年が3.2ポイント増と回復傾向にあるが、製造業及び建設業の影響が大きく、卸小売業、サービス業に至っては、引き続き大変厳しい状況が伺えず

■経営動向

○製造業・建設業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
引合	/		-11.1	-18.2	4.4	-18.2
売上			-28.9	-20.0	-11.1	-13.3
採算	20.0	31.1	-20.0	-17.8	-11.1	-13.3
資金繰り	-13.3	0.0	/		/	
業況	-11.1	-2.2				

経営動向DIの算出方法

「良い」とみる割合(%)から、「悪い」とみる割合(%)を引いてDIを算出

(「良い」と「悪い」の割合が同じ場合、DIは「0」)

(製造業・建設業)グループと、(卸小売業・サービス業)グループに分類して集計をしている。

○卸小売業・サービス業

	今期		前年同期比		前期比	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回
売上	/		-31.3	-45.2	-34.4	-31.7
客数			-46.9	-52.4	-46.9	-31.7
客単価			-37.5	-28.6	-40.6	-12.2
採算	-28.6	-9.5	/		/	
資金繰り	-34.4	-40.5				
業況	-46.9	-52.4				

★今期の経営動向

製造業・建設業においては、採算が11.1と前回調査に比べて大幅にマイナスとなっている。また、資金繰りや業況も、マイナスとなり景況感と実態に乖離がみられる。

卸小売業・サービス業においては、採算はマイナス幅が大きくなっているものの、資金繰り及び業況については、前回のマイナス幅が大きかった影響が改善傾向にある。

★前年同期比、前期比

製造業・建設業においては、前年同期比では、引合いは増えているものの、他の項目についてはマイナスとなっている。前期比については、回復傾向にあり、特に引合いについては大幅に改善している。卸小売業・サービス業の前期比については、増加(好転)しているとみる事業者が少ないため、マイナス値となっている。

■今期直面している経営上の問題点 (業種別上位5項目 項目の後の()は前回順位(同順位あり)、業種の後の数字は選択された数)

	製造業(47)		建設業(55)		卸小売業(42)		サービス業(55)	
1位	設備の不足、老朽化(2)	16.7%	従業員の確保難(1)	20.4%	需要の停滞(4)	23.1%	消費者ニーズの変化への対応(3)	19.6%
2位	仕入・人件費以外の経費の増加(6)	14.8%	競争の激化(2)	14.8%	競争の激化(2)	15.4%	需要の停滞(2)	16.1%
3位	従業員の確保難(2)	13.0%	仕入・人件費以外の経費の増加(3)	14.8%	消費者ニーズの変化への対応(2)	7.7%	仕入価格の上昇(1)	14.3%
4位	人件費の増加(1)	11.1%	仕入価格の上昇(4)	9.3%	設備の不足、老朽化(6)	7.7%	設備の不足、老朽化(4)	12.5%
5位	仕入価格の上昇(4)	11.1%	人件費の増加(8)	9.3%	借入難(8)	7.7%	従業員の確保難(5)	8.9%

製造業において、前回の1位であった「人件費の増加」が4位となり、代わって「設備の不足・老朽化」が1位となっている。また、両業種とも共通課題が多く、引合いが上がっていることによるものと考えられる。また、卸小売業、サービス業においては、売上減少、採算悪化による「需要の停滞」「消費者ニーズの変化」「競争の激化」が上位にあり、過疎高齢化、人口減少、ライフスタイル変化が及ぼす影響は大きいものと思われる。

■冬期賞与の支給状況

	業種別				地域別				計	割合
	製造	建設	卸小売	サービス	三和	夜久野	大江	福知山		
H29冬支給 & H30冬支給	10	14	1	9	7	12	15	0	34	44%
H29冬不支給 & H30冬支給	2	2	2	2	2	0	6	0	8	10%
H29冬支給 & H30冬不支給	1	0	1	0	1	0	1	0	2	3%
H29冬不支給 & H30冬不支給	7	6	4	6	4	11	8	0	23	30%
無回答	2	1	2	5	2	1	7	0	10	13%
計	22	23	10	22	16	23	30	0	77	100%

H29冬期賞与支給月数
(支給回答41事業者)

	2ヶ月以上	1~2ヶ月	1ヶ月未満	寸志	支給なし	無回答	計
正社員	3	15	11	11	2	35	77
パート	0	0	3	16	15	43	77

平成30年冬期賞与を支給した事業所は42者であり、全体の54%を占める。その内34者は、平成29年の冬期賞与も支給している。平成30年冬期賞与を支給しなかった事業者は25者であり、その内23者は、平成29年の冬期賞与も支給していない。無回答の事業者が10者は、従業員がいない、あるいは家族従業員のみ事業者があるためと推測される。平成30年冬期賞与の支給月数については、正社員は事業者による差が大きく、2ヶ月以上から寸志までとなっているが、パートは1ヶ月未満もしくは寸志がほとんどであり、支給なしという事業者も見られる。

■経営者の年齢と後継者の有無

○経営者の年齢

	事業者数	割合
70歳以上	15	19%
60代	22	29%
50代	16	21%
50歳未満	16	21%
無回答	8	10%
計	77	100%

○後継者の有無

	事業者数	割合
決定している	22	29%
候補あり未決定	13	17%
探している	4	5%
廃業予定	18	23%
時期尚早	15	19%
回答なし	5	6%
計	77	100%

調査事業者数の内、60代以上の経営者が37者と半数いる。経営者の平均引退年齢は70歳であることから、将来を見据えた事業承継を進める必要がある。

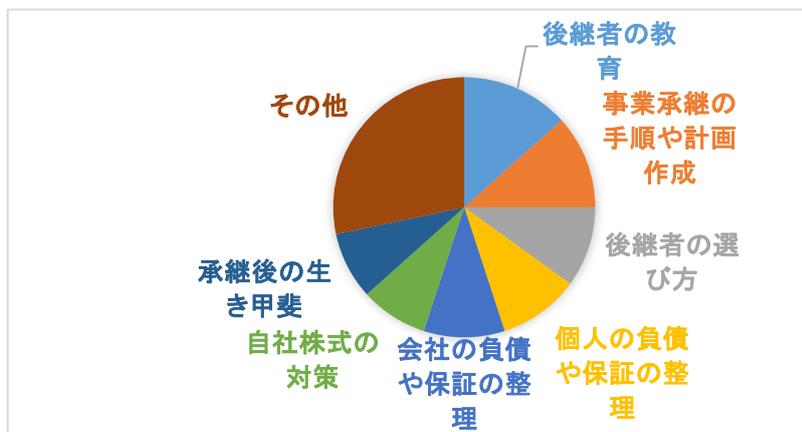
後継者については、22者においては決定しているが、『候補はいるが未決定』及び『探している』という事業者が17者であり、廃業を予定している事業者も18者と多くなっている。

事業承継に関する悩みや知りたいことの内、『後継者の教育(8)』や『事業承継の手順や計画作成(7)』をあげる事業者が多い。これらは、現事業を推進する上で欠かせない事項であり、事業継続や発展を図るためにも早急な対応が必要である。

『後継者の選び方(6)』、『個人の負債や保証の整理(6)』、『会社の負債や保証の整理(6)』については、事業者が単独で実施することは難しい問題や順序立てて計画的に実施する必要があるため、ぜひ商工会を活用されたい。また、円滑な事業承継に向けては専門派遣を活用するなど、円滑な事業承継を支援していくところである。

■事業承継に関する悩みや知りたいこと

(14個の選択肢から複数個選択回答 項目の後の数字は選択された数)



後継者の教育	8
事業承継の手順や計画作成	7
後継者の選び方	6
個人の負債や保証の整理	6
会社の負債や保証の整理	6
自社株式の対策	5
承継後の生き甲斐	5
取引先との関係維持	4
従業員との関係維持	4
承継後の生活費確保	4
個人資産の相続問題	3
相続税等の税金対策	1
相続人の対立	1

この調査は、福知山市商工会会員事業所を対象として、景気判断や経営動向等を明らかにし、売上向上を目指した事業計画の策定、販路開拓や商品開発、事業承継、経営改善等経営力向上を推進する基礎資料として活用することを目的に実施しています。

次回は平成31年1月~3月の状況について、平成31年4月に調査する予定です。商工会の支援員が調査にお伺いしますので、調査対象の事業所様には引き続きご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。